

正念場を迎えた「戦争法案」、声をあげよう！国会へ行こう！



12万人が国会包囲 (写真：しんぶん赤旗提供)

2点目は、強引な
議を継続する。
て認められない、審
員会での採決は断じ
て認められない、審
議を継続する。
2点目は、強引な

必ず廃案に追いこみましよう。
憲法破壊、民主主義破壊の「戦争法案」を
に行きましよう。
を阻止するために職場から声をあげ、国会前
京浜地区で働く皆さん、今すぐ「戦争法案」
代の国民が立ち上がっています。
てママ・パパなどあらゆる階層、あらゆる世
労働者、青年・学生、学者・文化人、子育
電機連合なども、法案反対を表明しています。
しよう」と呼びかけ、基幹労連、自動車連、
動で「渾身の力を込めてNO！を突き付けま
る手段を講じ結束して対応する。
連合の古賀会長は、8月23日の国会包囲行
3点目は、野党の全議員の認識を一致させ、
成立阻止を図るため、野党・会派の「合同集
会」を開く。

9月11日、共産、民主、維新、社民、生活、
元気、参院会派「無所属クラブ」の野党7党・
会派の党首会談で、国民の声にこたえて、野
党が一致結束して、「安保法案」
案「阻止のため、内閣不信任案、参院での問責決議案などあらゆる手段をつくして頑張りぬくことを確認し、次の3点で合意しました。

採決に断固として反対し、成立阻止へあらゆる手段を講じ結束して対応する。
3点目は、野党の全議員の認識を一致させ、成立阻止を図るため、野党・会派の「合同集会」を開く。

国民の大行動と野党の総結集で強行採決を阻止しよう！



戦争法反対を訴えるママたち (写真：しんぶん赤旗提供)

「戦争法案」が通り、とりかえしがつかなくなつてから後悔するのではなく、いま、声をあげるときです。
「戦争法案」を通すかどうかは、日本の重大な分かれ目です。
「戦争法案」が通り、とりかえしがつかなくなつてから後悔するのではなく、いま、声をあげるときです。



国会前で抗議する学生たち (写真：しんぶん赤旗提供)

後の後悔でなく、いま声をあげよう

「戦争法案」は、日本を戦争しない国から「戦争する国」に根本的に変えてしまします。
「戦争する国」になれば、日本の若者が海外で「殺し殺される」「戦争に駆り出されることになります。
国民が強制的に戦争に協力させられ、産業も軍事が優先されます。
言論や報道が規制され、若者が進んで戦争に行くよう、教育も変えられます。
「戦争法案」を通すかどうかは、日本の重大な分かれ目です。
「戦争法案」が通り、とりかえしがつかなくなつてから後悔するのではなく、いま、声をあげるときです。

「戦争法案」は衆参で3カ月余の審議を行ってきましたが、安倍政権はついに国民の理解を得ることができませんでした。
国民の6割以上が「今国会での成立反対」と頑強に反対している法案を強行することは、国民主権の大原則を踏みこむ暴挙です。
「戦争法案」で自衛隊が行う活動は、海外での武力行使そのものであり、憲法違反です。
圧倒的多数の憲法学者、元内閣法制局長官

国会で多数でも、憲法違反の法案の強行は許されない

「戦争法案」をめぐる、自民・公明与党が16日の地方公聴会の後にも参議院で強行採決をねらう緊迫した情勢のもと、法案阻止のたたかいはまさに正念場を迎えています。

に続き、最高裁判所長官を務めた山口繁さんも、憲法違反と断じ、「合憲か、違憲か」は、はつきり決着がつかましました。
いかに安倍政権が国会で多数を持つていたとしても、国民多数が反対する、憲法違反の法案を強行することは絶対に許されません。

「京浜の高炉」
2015年9月15日

希代の悪法「戦争法案」阻止を報道する「しんぶん赤旗」
日刊紙・3,497円/月、日曜版823円/月 の購読を

日本共産党京浜製鉄委員会
TEL 044-233-7730 ホームページ http://keihin.jcpweb/
FAX 044-211-4891 Eメール cp-keihin@nifty.com

